

日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部

保健・医療・福祉に関する勉強会

## 在宅における Polypharmacy と 不適切な薬剤投与

浜野 淳 先生

筑波大学附属病院 医療連携患者相談センター 副センター部長

平成26年7月28日(月)

18:30～20:30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

諸外国では在宅などにおける Polypharmacy、不適切な薬剤投与に関して、疫学調査、介入研究などが報告されています。Polypharmacy、不適切な薬剤投与は、薬剤コンプライアンスの低下、薬剤相互作用による有害事象や副作用のリスク増大、そして経済的な負担の増大につながるとされていますが、近年では、日本の在宅患者においても Polypharmacy、不適切な薬剤投与の頻度が高いことが報告されています。

そして、Polypharmacy、不適切な薬剤投与を改善させる方法として訪問薬剤師や訪問看護師との協働や情報共有が有用であると考えられますが、それぞれの立場において、適切な評価・介入について考えたいと思います。

今回の勉強会では、筑波大学附属病院の浜野淳先生に「在宅における Polypharmacy と不適切な薬剤投与」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

主催：日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部

共催：筑波大学大学院 人間総合科学研究科

フロンティア医科学専攻 医科学セミナー4（高齢者医学）

連絡先：筑波大学大学院人間総合科学研究科

福祉医療学

柳 久子

TEL&FAX： 029-853-3496